

## 1月10日(土曜日)今年から新たに土曜日の活動も

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中

計9名】

モリメイトの活動がこれからもずっと続くためにも新しいメンバーが入ってくれたらという思いで、今年から新たに土曜日の活動日を設けた。平日の活動が難しかった人もこの機会に参加してくれることを期待している。1月は第2土曜日になったが、2月からは1週目は土曜日の午前中(10時~12時)を活動日とすることになる。

伊賀タウン情報誌「YOU」の1月前半号の一面に、「モリメイトの紹介と土曜日の活動日を設けたこと」を掲載してもらったことで、代表のところに次々と活動の様子を見てみたいという連絡が入ってきており「YOU」の効果はてき面であった。

早速、10日の活動日には新しく岡田静子さんが参加してくれることになった。

## モリメイトフィールド内を散策しながら名札を付ける木を選定

土曜日の活動は、だれでも参加でき、自然に触れ合うことができる、安全で楽しい活動がいいと考えていた。以前からモリメイトフィールド内で作業をしていると散策している人から木の名前を聞かれることがよくあるので、「名札を付ける木を選ぶ」「名札を作る」「名札を付ける」を3回に分けて実施することにした。

1回目は散策を兼ねて名札を付ける木を選ぶ活動を行った。冬なので裸木が多く、見極めるのが難しい木もあったがスマホと「三重県上野森林公園の樹木」という冊子を片手に名札を付ける木を選んでいった。樹肌や冬芽、葉の形や艶、手触り、木の実などの話をしながらの散策は、とても有意義で楽しい時間となった。

マツ、スギ、ヒノキ、ネズミサシ、ヤマモモ、カナメモチ、ヤシャブシ、ハンノキ、クヌギ、アラカシ、シラカシ、ケヤキ、コナラ、クリ、マテバシイ、コバノミツバツツジ、ヤマザクラ、ヒサカキ、ウワミズザクラ、ヌルデ、ウルシ、イヌツゲ、ウメモドキ、ネジキ...などの木を選んだ。



名札を付ける木にテープで印をつけていった。

「これは、クヌギですね。大きい木ですね。」と岡田さん



「今日モリメイトがどんな活動をしているのか」が分るように越智さんが「モリメイト活動中」の看板を作ってくれた。



# 1月 15(木曜日) 枯れマツの除伐、 シイタケの原木運び、花菖蒲園の整備

【参加者:池本、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、風呂矢

計 9 名】

この日から新しく風呂矢さんが参加。3組に分かれて作業を行った。



クヌギの植樹地の遊歩道沿いにある枯れマツを除伐

花菖蒲の芽が出てこないうちに伸び放題になっていた花菖蒲園の草刈りを行った。初めに刈払機で刈りその後、溝や網の周囲を手鎌で刈っていった。

クヌギの植樹地周辺でコナラを除伐し、乾燥させておいたシイタケの原木を「カブトムシの森」まで運んだ。木谷さんが持ってきてくれたリヤカーがでこぼこ道もなんのその、重い原木も簡単に運ぶことができた。



# 1月 29 日(木曜日)「シイタケの菌打ち体験」の準備 花菖蒲園の整備

【参加者:池本、越智宏、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜学、森浜牧、中

計 10 名】

三重県に 21 日から 25 日にかけて大雪警報が発令。22 日の活動日も雪が散らつく寒い日で、積雪のため家から出るのが難しいメンバーもあり、活動は中止。

29 日は日本列島は大寒波到来で、寒い朝であったが、10 名が参加し、「シイタケの菌打ち体験」の準備を行った。

- ・ 菌コマ 60 個（原木 2 本分）を袋に詰める、
- ・ 原木に付ける札をつくる、
- ・ 原木を「カブトムシの森」からビクターコテージまで運び、太いのと細いのをセットにして紐で結ぶ、
- ・ 菌打ちで使う道具を点検する など



午後からは花菖蒲園の 22 日に刈り残していたところを刈払機で刈り、刈り取った草を片付けた。春になると芽を出し、6 月にはまたきれいな花を咲かせてくれるのを待ちたい。

## モリメイト会議

- ・ 主にイベント「シイタケの菌打ち体験」について話し合う
- ・ 土曜日の新しい参加者は、何回か体験した後に、本格的に参加の旨を事務所に伝えてもらう。